

3 交流拠点施設の機能及び規模の目安

〔施設の概要〕

- ・テーマ:「多世代交流と憩いの場」、「市民活動と学びの場」
- ・延床面積:3,800㎡程度(施設3,600㎡+半屋外多目的空間200㎡)
(市民会館、文化センター等の機能を集約(延床面積▲約35%))

以下を基本として、事業者による機能の統合や連結等による可変的な空間活用の提案も可能とする。

機能 (現施設の機能名)	主な用途・仕様	規模の 目安
交流ホール (現市民会館大ホール)	・地域団体、小中学校等の各種練習・発表(吹奏楽、合唱、講演会、演劇、展示会等)、健診など ・320席以上 ・椅子、ステージ収納時はフラットな空間として活用可能	600㎡
小ホール (現市民会館小ホール)	・各種サークル活動(ダンス、民謡、健康体操など) ・分割可能	200㎡
大会議室 (現文化センター大会議室)	・会議、講演会、表彰式、研修会など ・分割可能	250㎡
和室A (現市民会館和室)	・各種教室(茶道、華道、着付けなど)、百人一首大会、子育てサークル活動、健診など ・分割可能	60㎡
和室B (現文化センター和室会議室)		150㎡
キッチンスタジオ (現保健福祉センター調理室ほか)	・配食サービス作業、料理教室、商品開発など	100㎡
多目的室 (現文化センター第1研修室ほか)	・料理の試食、ミーティング、創作活動、パソコン研修など	80㎡
音楽スタジオ (現市民会館写真撮影場)	・バンド活動、楽器演奏など	30㎡
図書館 (現文化センター図書館)	・学生が気軽に勉強できる学習スペースを併設 ・児童コーナーにお話しスペースを確保	450㎡
半屋外多目的空間	・各種イベント(マルシェ、物販、発表など) ・住民が自由に活動できる場	200㎡
交流ルーム (現市民会館宴会場ほか)	・半屋外多目的空間でのイベント(飲食、物販など)と連携した使用が可能となる空間 ・合唱練習・展示会など	150㎡
ホワイエ (現市民会館ホワイエほか)	・自由に利用できるコワーキングスペース、たまり場 ・各種展示コーナー、臨時的な物販スペースなど	1,530㎡
事務室その他共用部 (現市民会館事務室ほか)		
合計		3,800㎡
外構	・駐車場(130台以上)、駐輪場、植栽など	—

4 整備手法等

〔設計施工一括発注方式〕

【業務範囲】設計、建築工事、造成工事、外構工事ほか土木工事一式

※設計施工一括発注方式の一般的メリット

- ・設計に施工者のノウハウを活かすことが可能
- ・事業期間の短縮及びトータルコストの削減

〔事業者選定の主なポイント〕

- ・中央公園との一体活用、利用者の利便性、周辺の居住環境等に配慮した施設配置
- ・各機能の配置や設えの工夫、地元産材の活用
- ・ライフサイクルコスト及び維持管理費の削減に対する取り組み・考え方

〔設計施工一括発注に係る概算事業費〕

約20億円(財源:社会資本整備総合交付金、過疎対策事業債等)

5 事業スケジュール



6 平成31年度予算の見込み

- 〔当初予算〕 用地取得費ほか(約2.4億円)
(用地取得に係る債務負担行為をH31.3月補正で設定)
工事請負費は債務負担行為の設定のみ提案
- 〔補正予算〕 9月 当初予算で設定した債務負担行為の額を補正
H31年度執行分の工事請負費
- 12月 ガス・上水道の移設に係る補償費